



平成27年度森林総合監理士育成事業 技術者育成研修（ブロック研修）

1. 研修日程： 平成27年9月15（火）～18日（金）
2. 研修会場： ホテルサン人吉（熊本県人吉市）
3. 現地実習： 人吉市大畑国有林74ち林小班外
4. 参加者： 33名
県職員26名
市町村職員1名・国有林職員6名



➤ 研修目標

1. 森林総合監理士の果たすべき役割についての理解と意欲の醸成
2. 森林を科学的に評価する能力の習得
3. 循環的な木材生産の戦略を描ける能力の習得
4. 森林・林業を地域の振興につなげるビジョンを構築できる能力の習得
5. プレゼン能力、合意形成能力の習得



1日目

- ◆ 開校式
- ◆ オリエンテーション
- ◆ 中央研修との関係
- ◆ フォレスターの役割

開講式の様子



オリエンテーションの様子



中央研修との関係



研修の様子



循環利用構想演習
1,000haの団地を
対象に間伐計画と
林業専用道の検討
(机上演習)

森づくり構想演習
目標林型と施業方
法の選択
(机上演習)

2日目

森づくり構想実習
現地踏査及び
発表の様子

➤ 木材生産機能と公益的機能を
調和させながら、科学的・技
術的な知見と森づくりの思
想・理念にそった森林施業・
森林管理が基本であること
について理解を深める。

研修の様子



外部講師：溝上展也准教授
(九州大学)



2日目

資源循環利用構想実習

現地踏査の様子

- 机上演習で林業専用道の配置等を検討した1,000ha程度の団地を対象として、現地条件に応じて、地形の遠望、地質及び水系の確認、周辺の土地利用における社会条件等を観察、確認し、現地調査の方法及びポイントを習得する。



3日目

資源循環利用構想演習

グループワーク及び
発表準備状況の様子

- 現地実習で確認した団地を対象として、10年間にわたる経営ビジョンを様々な観点から検討し、集約的かつ効率的な森林整備の戦略を策定し、地域の将来ビジョンを描く能力を養う。

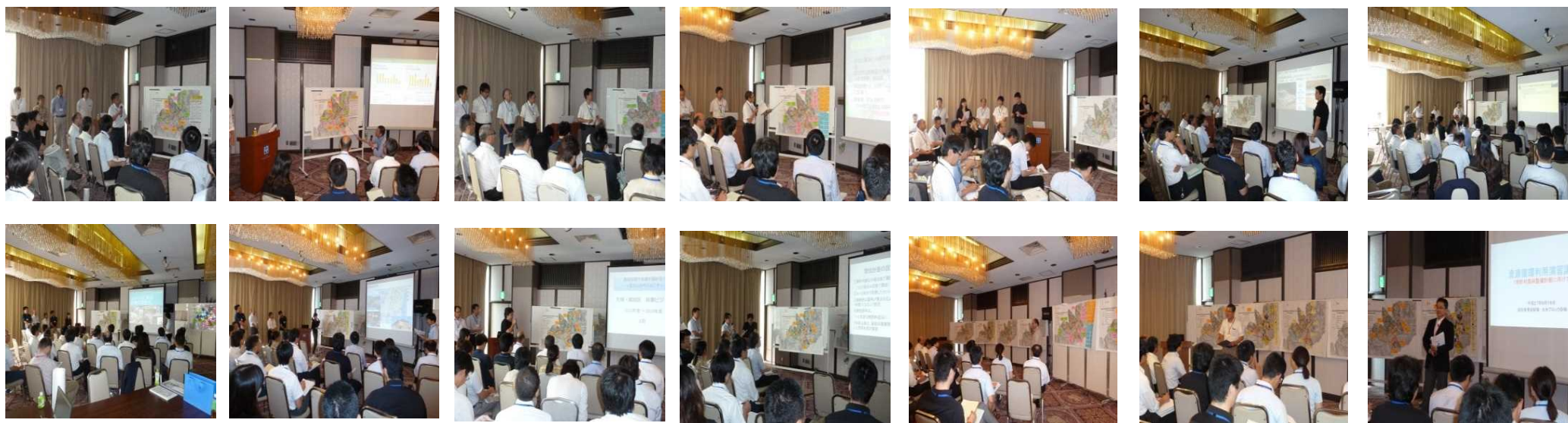


4日目

資源循環利用構想演習

発表・ディスカッション
講評の様子

- 10年間の間伐計画及び路網整備計画を含む総合的な森林整備の構想策定を通じて、市町村森林整備計画における木材生産を中心とした団地の中・長期的な森林・林業の経営ビジョンを構築するための能力を高める。
- コミュニケーション・プレゼンテーションの講義の内容を実践し、合意形成のための効果的なプレゼンテーションと建設的な議論を行うための能力の向上を図る。



この研修を通じて培った知識・技術を各地域において、広域的、長期的な視野を持って地域の森林経営ビジョンを描き、中立的な立場で地域の関係者を指導する、地域の森林・林業の牽引者となって下さい！



平成 27 年度 技術者育成研修
＜九州ブロック＞

研修お疲れ様でした！